

開館40周年記念・寄贈記念特別企画展

高取家

コレクション

40th Anniversary/Special Commemorative Exhibition:
The Takatori Collection

令和2年
(2020年) 5月23日(土)～7月12日(日)

主催 佐賀県立九州陶磁文化館 会場 佐賀県立九州陶磁文化館 第1・2・3展示室
休館日 月曜休館 開館時間 午前9時～午後5時

観覧料
無料

佐賀県重要文化財 辰橋彫文茶碗 銘 玄海
肥前 1580～1600年代
佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 高取家(Takatori)

佐賀県立九州陶磁文化館
THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM



開館40周年記念・寄贈記念 特別企画展

高取家 コレクション

40th Anniversary/Special Commemorative Exhibition:
The Takatori Collection

高取家コレクションは、昭和62年(1987)と平成19年(2007)、令和2年(2020)の3度にわたって高取家から当館に寄贈を受けた唐津の「旧高取邸」の陶磁器です。

旧高取邸は、炭鉱経営で成功した高取伊好氏によって、明治38年(1905)玄界灘を望む唐津城本丸西南の広大な敷地に建てられた近代和風建築です。平成8年(1996)に高取家から唐津市へ寄贈され、平成10年(1998)に国の重要文化財に指定されました。

高取伊好氏は多久の儒家の出身であり、嗣子の高取九郎氏と共に地元の文化教育に尽力し、公園や学校、病院等へ多額の寄付を行い、地元の社会事業にも貢献した篤志家でした。そして、能舞台や茶室をしつらえた高取邸は、皇族や政財界の要人、文化人を迎えて地域の人々との交流の場となりました。

高取伊好氏と夫人の志那氏、九郎氏の時代から高取邸で多くの人々をもてなしてきた高取家コレクションの陶磁器は、茶陶から饗応に用いられた食器、調度品まで総数1189件3428点にも及びます。

展覧会では高取家コレクションの中から、唐津や有田、鍋島などの肥前陶磁を中心に、京焼、中国、朝鮮、ヨーロッパなど約180点の作品をご紹介します。



佐賀県重要文化財 灰釉彫文茶碗 銘 玄海
肥前 1580-1600年代 / 口径 14.2cm 高 10.1cm



青磁紗綾形桃文台付皿
肥前 有田 1660-1680年代 / 口径 28.2cm 高 11.4cm



色絵鸚鵡文猪口
肥前 鍋島藩窯 1650-1660年代 / 口径 6.3cm 高 6.5cm



三彩蓋付碗
肥前 長与 1790-1820年代 / 口径 12.0cm 高 10.3cm



藁灰釉茶碗
豊前 上野 1590-1630年代 / 口径 12.8cm 高 8.3cm



色絵日之出鶴文茶碗
京都 永楽保全 19世紀前半 / 口径 12.8cm 高 8.2cm



染付東蓮文大皿
中国 景德鎮 15世紀第14半期 / 口径 32.4cm 高 5.9cm



青磁鉄絵草花文瓶
朝鮮 12-13世紀 / 口径 5.6cm 高 26.0cm



染付樹鳥文水指
ベトナム 16世紀後半-17世紀前半 / 口径 16.8cm 高 17.8cm

作品の所蔵は全て佐賀県立九州陶磁文化館所蔵 高取家コレクション



[交通案内] ■JR博多駅からJR佐世保線有田駅まで(特急利用)約80分
JR佐世保線有田駅、MR西九州線有田駅より 徒歩 約12分
■西九州自動車道 波佐見有田インターより 車 約10分

佐賀県立九州陶磁文化館

THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM

〒844-8585 佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1

TEL0955-43-3681 FAX0955-43-3324 <https://saga-museum.jp/ceramic/>